



自社内専用の情報支援AIシステム

社内クローズの情報を要約できるAIシステムで業務の効率化が図れます。

システム概要

RAG (Retrieval-Augmented Generation: 検索拡張生成) 型のAIシステムです。社内情報をキーワード検索し、大規模言語モデルと自然言語処理によって、特定技術を要約できるシステムです。

イントラネット内ですべての情報がクローズなので情報漏洩リスクが少なく、システム構築後でも、容易に情報の追加・修正が可能です。誤情報 (ハルシネーション) も少なく、引用先のURLも同時に表示します。

技術営業の方の知識向上や社員教育などにご活用ください。

【システム概略】

キーワード入力 → 社内資料検索 → 大規模言語モデルが要約 → 自然言語処理で読みやすく

当社社内での活用例

約1500ページの営業用リーフレットをキーワード検索し、当社所有の技術を要約できます。

- ・ 営業部員のための技術情報支援用として開発
- ・ 若手社員教育にも活用

当社イントラネット内

JFE-TEC専用AIシステム (ファイル選択とキーワード入力)

キーワードを入力、エンターを押してしばらく待ちます

例: 気流 可視化 (間は全角スペース)

検索するファイルを選択してください:

open-leaflet

検索キーワードを入力してください:

気流 可視化

キーワード例
「気流 可視化」と入力

要約1 (長文)

要約表示 (全文)

要約2 (短文)

要約表示 (抜粋)

参照リーフレット URLを選択して右クリックで開きます

関連リーフレット名とURL

キーワード入力後、約5秒で
要約と関連リーフレット名を出力
(字数は事前設定できます)

当社独自の赤外線気流可視化アルゴリズムを用いてガスリークを検知いたします。CO等の有毒ガスやメタンなどの温室効果ガスのリークを検知することができます。これまではガス種毎に専用のカメラで検知する必要がありました。が CO2に感度のある赤外線カメラを用いて気流を可視化します。当社ではこの技術を発展させ新たに大気温度分布を測定する技術を開発しました。特徴赤外線カメラを用いることにより配管等からのガスリークを画像として検知することができます。赤外線気流可視化によるガスリーク検知気流の可視化解析技術の特徴赤外線カメラによる温度計測結果の解析により気体の流れを可視化します。赤外線カメラによる気流の可視化 当社ではこれまで気流の可視化測定技術を提供してきました。この技術は当社だけのもので大気にわずかに含まれるCO2に着目し 赤外線カメラによる大気温度可視化技術2台の赤外線カメラを用いることで大気温度分布を把握できます。大気温度分布測定 赤外線カメラによる気流の可視化技術ガラス窓越しで気流を可視化できます。近赤外線カメラによる可視化気流温度分布の可視化技術気流によって生じる温度変化の様子を可視化できます。気流温度分布の可視化 CO2をトレーサとした気流可視化を行うものです。しかし気流によって生じる温度の変化が不明なことが課題でした 当社独自の赤外線気流可視化システムに 高性能サーモグラフィと当社独自の解析技術を用いて気流を可視化します。2波長に分光された温度情報に基づく新しい気流可視化技術を開発しました。2カメラ大気温度測定システム大気温度分布測定気流の可視化本装置は 粉体や粒状体の流動-----以下省略



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2025 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

